

# C-compassとは…

C-compassとは、コンピテンシー向上を支える中央大学オリジナルのシステム。  
C-compassを利用することは、常に目標をもち、目標に向かって前進し続けることができる習慣を身につけることに大いに役立つ。大学生活で身につけた習慣は、社会に羽ばたく皆さんにとって、大きな財産となるはず。是非、C-compassを活用しよう。

## C-compassとは…

C-compassとは、コンピテンシー自己評価システムの略称で、あなたが主体的にコンピテンシーを向上させていくために、定期的に自分のコンピテンシーを確認し、学内外での様々な活動に目的をもって積極的に参画できるように支援するためのシステムのこと。このシステムを用いて、コンピテンシーレベルの自己評価を定期的（半年ごと）に行い、また大学生活における活動の計画や実績も合わせて入力することで、PDCA（Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Action（改善））サイクルを進めることができ、また常に振り返りを行うことも可能となります。

## C-compassの活用目的

C-compassは、

- ① あなたが、主体的にコンピテンシーの自己確認を行い（半年ごと）、
- ② 社会で活躍できるレベルにコンピテンシーを伸長すべく、
- ③ 学内外での様々な活動に目的をもって積極的に参画するためのツールとして活用することができる。

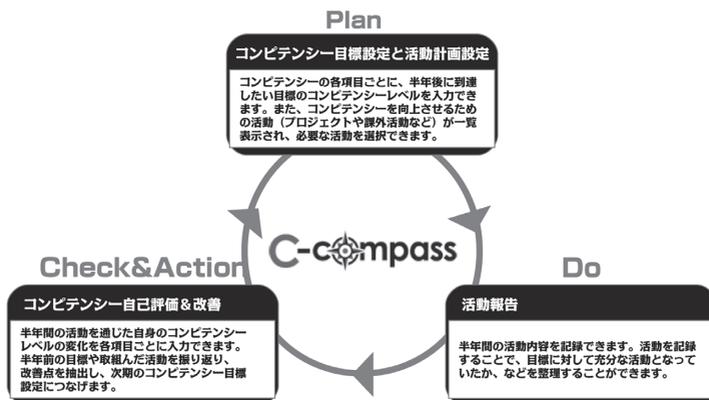
## C-compassの活用による効果

## C-compassの機能について

C-compassは、以下のとおり、時期によりどこまで入力したか、今は何をやるか、がトップ画面でわかるようになっています。



## 半年単位でのPDCAサイクル



# C-compassを活用しよう

## 1. C-compassにログインしよう



C-compass  
「統合認証のID・パスワード」でログイン

[検索ページ] 中央大学HP>大学紹介>特色ある教育>「知性×行動特性」学修プログラム>C-compass>C-compassとは

## 2. 4つのステップで内容を、記録・確認しよう

### ステップ①

自身の現状を  
評価する  
(Check&Action)

### ステップ②

目標を設定し、  
活動計画を設定する  
(Plan)

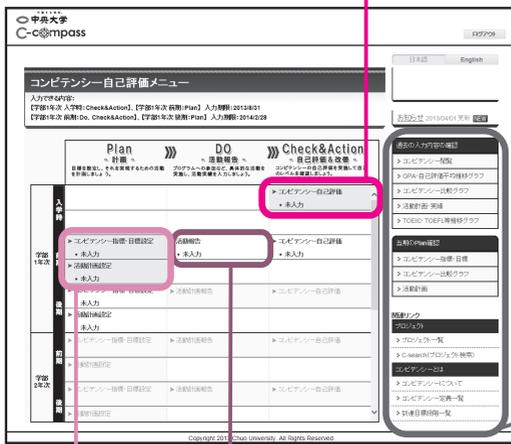
### ステップ③

取組みを実行し、  
実績を記録する  
(Do)

### ステップ④

取組みを振り返り、  
目標に対して評価する  
(Check&Action)

### 画面イメージ TOP画面



■ステップ① (ステップ④)  
自身の現状を評価する (取組みを振り返り、目標に対して評価する)

7カテゴリー31キーワードのコンピテンシー項目に対して現状の自己評価を行います。また2回目以降の自己評価時は、半年間の行動のレビューを行い、その目標に対しての自己評価を行います。



次ページの  
「確認画面」へ

### ■ステップ②

目標を設定し、活動計画を設定する  
半年後に到達したい目標のコンピテンシーレベルを設定し、目標達成に向けた活動計画を設定します。



### ■ステップ③

取組みを実行し、実績を記録する  
設定した目標に対する活動の実績を記録します。





# C-searchでプロジェクトを検索してみよう

## コンピテンシーをベースとしたプロジェクト検索システム「C-search」

中央大学のHPでは、コンピテンシーをベースとして、自分が伸ばしたいコンピテンシーと関連したプロジェクトを検索できるシステム「C-search」を設けています。向上させたいコンピテンシー・求めるレベル・所属学部・学年等をキーワードに検索すると、取組むべきプロジェクトを検出することができます。

[検索ページ] 中央大学HP>大学紹介>特色ある教育>「知性×行動特性」学修プログラム>C-search (プロジェクト検索システム)

### [検索画面]



検索したい条件を入力

### [検索結果]



### [取組みの内容]

#### ■商学部授業科目「ビジネス・イノベーション・プログラム」 Faculty of Commerce Course: Business Innovation Program

取組の解説

情報化社会における、ITを活用した経営革新や、経営企画スタッフを目指す学生を対象とした講座です。情報技術分野と情報活用分野において、技術分野では「情報ネットワーク論」や「ビジネス・プレゼンテーション」等、活用分野では「eコマース論」や「ベンチャービジネス論」、「ITと組織開発」等を通じて、知識・理解の向上を図ります。

達成基準

#### ■目標水準の達成基準：

情報化社会で求められている能力や必要な知識を理解することができる。また、それに必要な能力について認識をし、その能力を高めていくことができる。

対象学生

■配当 / 対象年次：2年次 3年次 4年次

■対象学部：商学部

コンピテンシーの定義についてはこちら

◎：主となるコンピテンシー、○：関連するコンピテンシー

目標水準 コンピテンシー	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
知識力	○				
読解力			○		
目標設定		○			
問題分析			○		
判断力	○				
空想		○			
応用力			○		
情報収集力		○			
柔軟性				○	
発信力				○	
探求心		○			

目指すレベル

## コミュニケーション力

定義：他人の意見あるいは記述された文章を正しく理解したうえで、それに対する自分の意見を明確に表現する力。効果的な説明方法や手段を用いて、関係者を納得させる。

### 傾聴力 他人の意見を聞き、正しく理解し、尊重する

- 5 相手の意見を十分理解し、**背景の多様性（文化・習慣・価値観等）に起因する多くの意見にも耳を傾け尊重している**
- 4 相手の意見を十分理解し、自分と異なる意見にも耳を傾け**尊重している**
- 3 相手の意見を十分理解し、**自分と異なる意見にも耳を傾けている**
- 2 相手の意見を**十分**理解している
- 1 相手の意見を一通り理解している
- 0 意見を聞き、理解することができていない

### 読解力 記述された内容を正しく理解する

- 5 記述された内容の真意を、**背景の多様性（文化・習慣・価値観等）に起因する**記述されていない内容を含めて、十分理解している
- 4 記述された内容、記述されていない内容を含めて真意を**十分**理解している
- 3 **記述された内容を十分理解した上で、記述されていない内容があることを考慮し、真意のある程度**理解している
- 2 記述された内容を**十分**理解している
- 1 記述された内容を理解しようとしている
- 0 記述された内容を理解できていない

### 記述力 正しい文章で他人が理解できるように記述する

- 5 正しい文章で、**背景の多様性（文化・習慣・価値観等）に起因して異なる意見を持つ**他者でも十分理解できる記述となるよう**秀でた工夫**をしている
- 4 正しい文章で、他人が十分理解できる記述となるよう**秀でた工夫**をしている
- 3 正しい文章で、他人が十分理解できる記述となるよう**工夫**をしている
- 2 正しい文章で、他人が**十分**理解できるよう記述することができる
- 1 正しい文章で、他人が一通り理解できるように**記述**することができる
- 0 記述された文章を他人が理解できない、あるいは、記述された文章に**重大な誤り**がある

### 提案力 適切な手順・手段を用いてわかりやすく説明したうえで、自分の意見を効果的に伝える

- 5 適切な手順・手段を用いてわかりやすく説明したうえで、**自分の意見を効果的に**伝えることで、**多様な背景に起因して異なる意見を持つ相手からも十分な理解**を得ている
- 4 適切な手順・手段を用いてわかりやすく説明したうえで、**自分の意見を効果的に**伝え、**自分と異なる意見を持つ相手からも十分な理解**を得ている
- 3 適切な手順・手段を用いてわかりやすく説明したうえで、**自分の意見を効果的に**伝えている
- 2 効果的な手順・手段を用いてわかりやすく説明**できている**
- 1 効果的な手順・手段を用いてわかりやすく説明しようとしている
- 0 効果的な手順・手段を用いてわかりやすく説明できない

### 議論力 議論の目標を設定し、それに合わせて議論を展開する

- 5 議論の目標を設定し、それに合わせて、**背景の多様性（文化・習慣・価値観等）に起因して異なる意見を持つ相手とも議論を展開し相互理解**を得ている
- 4 議論の目標を設定し、それに合わせて、自分と異なる意見を持つ相手とも議論を展開し**相互理解を得ている**
- 3 議論の目標を設定し、それに合わせて、**自分と異なる意見を持つ相手とも議論を展開**している
- 2 効果的な目標を設定し、それに合わせて議論を展開**している**
- 1 議論の目標を設定し、それに合わせて議論を展開しようとしている
- 0 一方的な主張に終わっている。あるいは意見を述べていない、誤った意見のために議論にならない

☆コンピテンシーを0～5段階で自己評価してみよう！

評価時期	年度始	前期		後期	
カテゴリ	自己評価	指標・目標設定	自己評価	指標・目標設定	自己評価
傾聴力					
記述力					
議論力					
読解力					
提案力					

※0～5の数字を記入してください。

## 問題解決力

**定義：**課題を正しく理解する力。解決策を立て実行する。その結果を検証し、計画の見直しや次の計画への反映を行う。

### 課題発見

現状と目標（あるべき姿）を把握し、その間にあるギャップの中から、解決すべき課題を見つけ出す

- 5 絶えず変化し多様性を増す環境の中で現状と目標を把握し、その間にあるギャップの中から、**随時**解決すべき課題を見つけ出し優先順位付けができています
- 4 現状と目標を把握し、その間にあるギャップの中から、**解決**すべき課題を見つけ出し**優先**順位付けができています
- 3 現状と目標を把握し、その間にあるギャップの中から、**解決**すべき課題を見つけ出している
- 2 現状と目標を把握し、その間にあるギャップの中に**問題**を見つけている
- 1 与えられた課題を正しく理解できている
- 0 与えられた課題を正しく理解できない

### 課題分析

課題の因果関係を理解し、真の原因（本質）を見出す

- 5 絶えず変化し多様性を増す環境の中で課題の因果関係を理解し、かつ、本質を見出した上で、**解決**の方向性を**随時**認識している
- 4 課題の因果関係を理解し、かつ、本質を見出したうえで、**解決**の方向性を**認識**している
- 3 課題の因果関係を理解し、本質を**見出し**ている
- 2 課題の因果関係を**理解**し、そこから本質を見出そうと努力している
- 1 課題の因果関係や本質を理解しようと見出す努力をしている
- 0 課題の因果関係や本質を理解できない、または、見出せない

### 論理的思考

複雑な事象の本質を整理し、構造化（誰が見てもわかりやすく）できる。論理的に自分の意見や手順を構築・展開できる

- 5 絶えず変化し多様性を増す環境の中で複雑な事象を整理し、**随時**構造化できる。意見や手順を論理的に展開し、相手を納得させることができる
- 4 複雑な事象を整理し、構造化できる。意見や手順を論理的に展開し、**相手**を納得させることができる
- 3 複雑な事象を整理し、構造化できる。**自分の意見や手順**を論理的に展開できる
- 2 複雑な事象を整理し、構造化**できる**
- 1 複雑な事象を整理し、構造化しようと努力している
- 0 複雑な事象を整理し、構造化できない

### 計画実行

目的と目標を設定し、順序立てて計画して確実に実行する

- 5 絶えず変化し多様性を増す環境の中で目的と目標を設定し、複数の方法から最善の方法を**随時**選択し、計画を立て実行している
- 4 目的と目標を設定し、**複数の方法から最善の方法**を選択し、計画を立て実行している
- 3 目的と目標を設定し、計画を立て、**その計画通り**に実行している
- 2 目的と目標を設定し、計画を立てて**それを実行**している
- 1 目的と目標を設定し、計画を立てているが、計画倒れて実行イメージが伴わない
- 0 場当たりの行動をしている

### 検証

計画して実行した結果を正しく評価し、計画の見直しや次期計画への反映を行う

- 5 絶えず変化し多様性を増す環境の中で結果を正しく多面的に評価し、計画の見直しや次期計画への反映を**随時**行っている
- 4 結果を正しく**多面的**に評価し、計画の見直しや次期計画への反映を行なっている
- 3 結果を正しく評価し、**計画の見直しや次期計画への反映**を行なっている
- 2 結果を**正しく**評価している
- 1 結果を一通り検証している
- 0 結果を検証していない

☆コンピテンシーを0〜5段階で自己評価してみよう！

評価時期	年度始		前期		後期	
	自己評価	指標・目標設定	自己評価	指標・目標設定	自己評価	指標・目標設定
課題発見						
論理的思考						
検証						
課題分析						
計画実行						

※0〜5の数字を記入してください。

## 知識獲得力

定義：継続的に深く広く情報収集に努め、取捨選択したうえで、知識やノウハウを習得し、関連付けて活用する力。

### 学習

専門知識のみならず自然科学および人文社会科学に関するものも含めて、幅広い分野で知識やノウハウを深く習得することを継続する

- 5 絶えず変化し多様性を増す環境の中で専門知識のみならず、自然科学および人文社会科学に関するものも含めて幅広い分野で、知識やノウハウを深く習得することを継続している
- 4 専門知識のみならず、自然科学および人文社会科学に関するものも含めて幅広い分野で、知識やノウハウを深く習得することを継続している
- 3 専門知識のみならず自然科学および人文社会科学に関するものも含めて、幅広い分野で、深く知識やノウハウを習得している
- 2 自ら新しい知識やノウハウの習得に努めている
- 1 限定的な知識やノウハウの習得に留まっている
- 0 自ら新しい知識やノウハウを習得できていない

### 応用力

入手した知識やノウハウを関連付けて活用する

- 5 絶えず変化し多様性を増す環境の中で入手した知識やノウハウを関連付け、他者が思いつかない形で随時活用している
- 4 入手した知識やノウハウを関連付け、他者が思いつかない形で活用している
- 3 入手した知識やノウハウを関連付け、自ら工夫して活用している
- 2 入手した知識やノウハウを関連付けて活用している
- 1 入手した情報や知識やノウハウが一通り関連付けられている
- 0 入手した知識やノウハウが関連付けられていない

### 情報収集力

必要な情報を入手し、精査したうえで、取捨選択して自分のものとする

- 5 絶えず変化し多様性を増す環境の中で様々な手段を駆使し、情報を入手している。信頼性が高い情報のみを選択して自分のものとしている
- 4 様々な手段を駆使し、情報を入手している。信頼性が高い情報のみを選択して自分のものとしている
- 3 工夫して情報を入手し精査したうえで、取捨選択して自分のものとしている
- 2 情報を入手し、精査している
- 1 通り一遍の情報入手に留まっている
- 0 必要な情報が入手できない

☆コンピテンシーを0～5段階で自己評価してみよう!

評価時期	年度始	前期		後期	
		自己評価	指標・目標設定	自己評価	指標・目標設定
学習					
情報収集力					
応用力					

※0～5の数字を記入してください。

## 「知性」と「行動特性」を高める

大学の授業では、専門分野の知識を深めることが出来る。また、課外活動、サークル活動等では、コンピテンシーを高めることが出来る。大学生活ではこの両方を高めていくことが重要になる。知識とコンピテンシー両方をいきなり高い水準に持って行くことは難しい。さまざまな活動を通し、経験を積み重ねることで、段階的に高めることが出来る。

知識とコンピテンシー両方を高める取組みが「プロジェクト」として用意された約 210 の取組みになる。C-compass で P (計画) の「コンピテンシー指標・目

標設定」を入力すると、次の「活動計画設定」ではあなたにお勧めのプロジェクトを見つけることもできる。

そして、その取り組みを通じて、新たな目標を見つけることもあるだろう。C-compass から興味のある取組を見つけ、取り組んでみよう。

## 組織的行動能力

定義: チーム、組織の目標を達成するために何をすべきか、複数の視点から多面的、客観的に捉え、適切な判断を下し、当事者意識を持って行動する力。その際、他者とお互いの考えを尊重し、信頼関係を築いてそれを維持しつつ行動する。

### バランスカ

複数の視点から、多面的、客観的に物事を捉えた適切な判断を基に行動する

- 5 多様性（文化・習慣・価値観等）を有する集団の中で複数の視点から多面的、客観的に物事を捉え、影響範囲や関係者の利害を幅広く考慮したうえで適切な判断を下し、それを基に行動している
- 4 複数の視点から多面的、客観的に物事を捉え、**影響範囲や関係者の利害を幅広く考慮したうえで適切な判断を下し、それを基に行動している**
- 3 複数の視点から多面的、客観的に物事を捉えた**適切な判断を基に行動している**
- 2 複数の視点から多面的、客観的に物事を捉えている
- 1 事実に基づいた視点で客観的に物事を捉えている
- 0 視野が狭く、周りが見えない。偏った考え方をする

### 役割認識

チーム、組織の目標を達成するために個人の役割を理解し、当事者意識を持って行動する

- 5 多様性（文化・習慣・価値観等）を有する集団の中で基本的な役割を理解したうえで行動する。また状況ごとに役割を柔軟に変え、役割を超えた働きをする
- 4 **基本的な役割を理解したうえで行動する。また状況ごとに役割を柔軟に変え、役割を超えた働きをする**
- 3 個人の役割を理解し、当事者意識を持って行動する。また**状況によって役割を柔軟に変え行動する**
- 2 個人の役割を理解し、**当事者意識を持って行動している**
- 1 自分の役割を認識しているが、行動に移せない
- 0 自分の役割を認識していない

### 主体性

物事に対して自分の意志・判断で責任を持って行動する

- 5 多様性（文化・習慣・価値観等）を有する集団の中で物事に対して自分の意志・判断で責任を持って行動し、その行動に工夫・独自性が見える
- 4 物事に対して自分の意志・判断で責任を持って行動し、**その行動に工夫・独自性が見える**
- 3 物事に対して自分の意志・判断で責任を持って行動している
- 2 何も言われなくても行動は起こすが、単なるマニュアル的行動をとる
- 1 誰かに指示されたことのみ行っている
- 0 誰かに指示されてもやらない、できない

### 協働

共通の目標を達成するためにお互いの考えを尊重し、信頼関係を築くような行動をとる

- 5 多様性（文化・習慣・価値観等）を有する集団の中で作業、行動をするとき、共通の目標を達成するためにお互いを尊重し、信頼関係を構築・維持しようと自ら工夫して行動する
- 4 チームでの作業、行動をするとき、共通の目標を達成するためにお互いを尊重し、信頼関係を構築・維持しようと**自ら工夫して行動する**
- 3 チームでの作業、行動をするとき、共通の目標を達成するためにお互いの考えを尊重し、**信頼関係を築くような行動をとる**
- 2 チームでの作業、行動において**共通の目標を理解し達成するための行動できる**
- 1 チームで作業できるが、目標を達成するために自ら動かない
- 0 チームで作業ができない、自己中心的な行動をする

### 率先力

先に立って実践する。先に立って模範を示し、他を誘導する

- 5 多様性（文化・習慣・価値観等）を有する集団の中で先に立って実践している。先に立って模範を示し、他を誘導している。さらに目指すべき方向性を示し、**他を活かしつつ導いている**
- 4 先に立って実践している。先に立って模範を示し、他を誘導している。さらに**目指すべき方向性を示し、他を導いている**
- 3 先に立って実践している。先に立って模範を示し、他を誘導している
- 2 先に立って実践している
- 1 他者に従って、あるいは真似をして行動している
- 0 行動しない

☆コンピテンシーを0～5段階で自己評価してみよう！

評価時期	年度始	前期		後期	
		自己評価	指標・目標設定	自己評価	指標・目標設定
バランスカ					
主体性					
率先力					
役割認識					
協働					

※0～5の数字を記入してください。

## 創造力

**定義**：知的好奇心を発揮して様々な専門内外のことに関心を持ち、それらから着想を得て今までになかった新しいアイデアを発想する。その際、関連法令を遵守し、倫理観を持って社会に対して負っている責任を果たす。

### 発想する力 既存の枠にとらわれず、今までに無かった新しいアイデアを生み出す

- 5 絶えず変化し多様性を増す環境の中で、これからの社会に示唆を与え貢献するような、独自のアイデアを生み出すことができる
- 4 これからの社会に示唆を与え貢献するような、独自のアイデアを生み出すことができる
- 3 経験したことがないことでも既存の枠にとらわれず、今までに無かった新しいアイデアを生み出すことができる
- 2 自分で適切なデータを収集・参照し、新しい考え方で物事に取り組む
- 1 ヒントを与えられた場合、新しい考え方で物事に取り組む
- 0 新しい考え方を持とうとしない

### 推論する力 経験のないことや将来起こりうることを推し量る

- 5 絶えず変化し多様性を増す環境の中で、前例のないことであっても将来起こりうることを複数通り推し量る
- 4 前例のないことについて将来起こりうることを複数通り推し量る
- 3 前例のないことについて将来起こりうることを推し量る
- 2 既知の事柄を基にして経験のないことや将来起こりうることを推し量る
- 1 既知の事柄を基にして経験のないことや将来起こりうることを推し量ろうとする
- 0 経験のないことや将来起こりうることを推し量ることができない

### 感動する力 すくれた芸術や技術、あるいは斬新なアイデアに接して強い印象を受け、新たな取り組みの原動力とする

- 5 絶えず変化し多様性を増す環境の中で、すくれた芸術や技術、あるいは、斬新なアイデアに接して強い印象を受け、積極的に新たな取り組みの原動力とする
- 4 すくれた芸術や技術、あるいは、斬新なアイデアに接して強い印象を受け、積極的に新たな取り組みの原動力とする
- 3 すくれた芸術や技術、あるいは、斬新なアイデアに接して強い印象を受け、新たな取り組みの原動力とする
- 2 すくれた芸術や技術、あるいは斬新なアイデアに接して強い印象を受け、心を奪われる
- 1 すくれた芸術や技術、あるいは斬新なアイデアに興味を持つ
- 0 すくれた芸術や技術、あるいは斬新なアイデアに興味を持たない

### 探求する意欲 旺盛な知的好奇心を持ち、専門であるなしに関わらず、未知の知識を取り入れようとする

- 5 変化する環境、多様な環境の中で、自分の専門内外に関わらず幅広い知的好奇心を持ち、新たな知識を意欲的に取り入れようと、積極的に行動している
- 4 自分の専門内外に関わらず幅広い知的好奇心を持ち、新たな知識を意欲的に取り入れようと、積極的に行動している
- 3 自分の専門内外に関わらず幅広い知的好奇心を持ち、新たな知識を意欲的に取り入れようと、実際に行動している
- 2 自分の専門内外に関わらず幅広い知的好奇心を持ち、新たな知識を取り入れようと、一部は実際に行動している
- 1 普段から自分が興味のある分野について情報収集の努力をしている
- 0 新たな知識を得ようという姿勢を持たない

### 倫理 関連法令遵守。自らの取り組みや仕事社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、社会に対して負っている責任を果たす

- 5 関係する国・地域の法令や国際法を理解して遵守している。絶えず変化し多様性を増す環境の中で、自らの取り組みや仕事社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、社会に対して負っている責任を認識し、その責任を果たす
- 4 関連法令を理解して遵守している。自らの取り組みや仕事社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、社会に対して負っている責任を認識し、その責任を果たす
- 3 関連法令を理解して遵守している。自らの取り組みや仕事社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、社会に対して負っている責任を認識し、一部は実際に行動している
- 2 関連法令を理解して遵守している。自らの取り組みや仕事社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、社会に対して負っている責任を認識している
- 1 関連法令を理解して遵守している
- 0 関連法令を理解していない

☆コンピテンシーを0～5段階で自己評価してみよう!

評価時期	年度始	前期		後期	
カテゴリ	自己評価	指標・目標設定	自己評価	指標・目標設定	自己評価
発想する力					
感動する力					
倫理					
推論する力					
探求する意欲					

※0～5の数字を記入してください。

## 自己実現力

**定義：**自らを高めるため、常に新しい目標を求め、その実現のために道筋を考え、努力する力。その際、自己管理と改善のための工夫を怠らない

### 目標設定 自らを高めるための適切な目標を設定する

- 5 絶えず変化し多様性を増す環境の中でも継続的に自らを高めるための適切な目標を設定し、さらにそれを達成するための具体的なかつ最適な指標を設定することができる
- 4 継続的に自らを高めるための適切な目標を設定し、さらにそれを達成するための具体的なかつ最適な指標を設定することができる
- 3 自らを高めるための適切な目標を設定し、さらにそれを達成するための具体的な指標を設定することができる
- 2 明確な目標を設定することができる
- 1 おぼろげな目標を設定することができる
- 0 目標を設定することができない

### スケジュール管理 目標の実現のために適切な行動計画を立案し、計画実行のために(メモを取るなどの)スケジュール意識を持つ行動する

- 5 絶えず変化し多様性を増す環境中でも行動計画の立案ができる。突発的な事態に臨機応変に対応し、必要に応じて適切な対応、調整ができる
- 4 行動計画の立案ができる。突発的な事態に臨機応変に対応し、必要に応じて適切な対応、調整ができる
- 3 行動計画の立案ができ、突発的な事態に対応できる
- 2 スケジュール意識があり、メモを取る。行動計画の立案はできるが、突発的な事態に対応できない
- 1 スケジュール意識はあるがメモを取らない。いつ何をしなければならぬかを理解しているが一部できない
- 0 スケジュール意識がない。いつ何をしなければならぬかを把握していない

### 自己管理 目標達成のために必要な日常生活の管理(時間管理、衛生管理、健康管理、金銭管理など)を行い、適時的確な行動を取る

- 5 絶えず変化し多様性を増す環境の中でも生活の管理を行い、発生しうる事態に対応した予防策、対処法を計画し、備えている
- 4 日常生活の管理を行っている。定期的な健康診断を受け、その結果を踏まえて健康維持のための積極的な取り組みを継続的に行っている。発生しうる事態に対応した予防策、対処法を計画している
- 3 日常生活の管理を行っている。定期的な健康診断を受け、その結果を踏まえて健康維持のための積極的な取り組みを行っている。発生しうる事態を想定している
- 2 日常生活の管理を行っている。定期的な健康診断を受け、普段の生活に生かし体調を崩さないようにする
- 1 日常生活の管理を行っている
- 0 日常生活の管理を怠っている

### ストレスコントロール ストレスと上手につき合い、それによる悪影響を最小に抑える

- 5 絶えず変化し多様性を増す環境の中でも自分のストレスを意識的にチェックし、強いストレスを感じた際も、自分に合った方法で解消したり低減したりすることができる
- 4 普段から自分のストレスを意識的にチェックし、強いストレスを感じた際も、自分に合った方法で解消したり低減したりすることができる
- 3 普段から自分のストレスを意識的にチェックし、自分に合った方法で上手に解消することができる
- 2 普段から自分のストレスを意識的にチェックし、自分に合った方法で解消することができる
- 1 ストレスが溜まると察知して解消するか、これ以上蓄積しないよう行動する
- 0 ストレスの解消法を知らず溜め込んでしまう

### 達成志向 普段から新しい目標を求めており、自分で設定してそれを達成しようと道筋を立て、努力する。改善のための工夫をする

- 5 絶えず変化し多様性を増す環境の中でも新しい目標を求めており、自分で設定してそれを達成しようと努力する。失敗しても効果的な改善を行い、あきらめず繰り返し挑戦する
- 4 普段から新しい目標を求めており、自分で設定してそれを達成しようと努力する。失敗しても効果的な改善を行い、あきらめず繰り返し挑戦する
- 3 普段から新しい目標を求めており、自分で設定してそれを達成しようと努力する。そのための道筋を立て、改善のための工夫を怠らない
- 2 普段から新しい目標を求めており、自分で設定してそれを達成しようと努力する
- 1 目標が与えられるとそれを達成しようと努力する
- 0 目標が与えられると達成しようと努力しない。最初からあきらめている。すぐにあきらめる

☆コンピテンシーを0～5段階で自己評価してみよう!

評価時期	年度始		前期		後期	
	自己評価	指標・目標設定	自己評価	指標・目標設定	自己評価	指標・目標設定
目標設定						
自己管理						
達成志向						
スケジュール管理						
ストレスコントロール						

※0～5の数字を記入してください。

## 多様性創発力

**定義:**多様性（文化・習慣・価値観等）に適切に対応しつつ、自らの存在感を高め、その協同から、相乗効果を生み出すことで、新たな価値を得る

**自確力** 自らの慣れ親しんだ文化・習慣・価値観等を正しく理解したうえで、自分が何を望むか、かつ、まわりが自分に何を望んでいるのかを判断し、行動する

- 5 自らの慣れ親しんだ文化・習慣・価値観等を正しく理解したうえで、自分が何を望むか、かつ、まわりが自分に何を望んでいるのかを判断し、行動することで**存在感を高めている**
- 4 自らの慣れ親しんだ文化・習慣・価値観等を正しく理解したうえで、自分が何を望むか、かつ、まわりが**自分に何を望んでいるのかを判断し、行動している**
- 3 自らの慣れ親しんだ文化・習慣・価値観等を正しく理解し、**自分が望む行動、あるいはまわりが自分に望む行動をしている**
- 2 自らの慣れ親しんだ文化・習慣・価値観等を**正しく理解している**
- 1 自らの慣れ親しんだ文化・習慣・価値観等を意識し、理解しようとしている
- 0 異なる文化・習慣・価値観等に接したときに、自らの慣れ親しんだ文化・習慣・価値観等を意識しない

**融合力** 異なる文化・習慣・価値観等の相互理解を得て適切に対応し、互いに学び続けている

- 5 異なる文化・習慣・価値観等の相互理解を得て、適切に対応し、**互いに学び続けている**
- 4 異なる文化・習慣・価値観等の相互理解を得て**適切に対応している**
- 3 異なる文化・習慣・価値観等を理解し、受け入れるとともに、**自らの慣れ親しんだ文化・習慣・価値観等を伝えている**
- 2 異なる文化・習慣・価値観等を理解し、**受け入れている**
- 1 異なる文化・習慣・価値観等の存在を意識し、理解しようとしている
- 0 異なる文化・習慣・価値観等の存在を意識していない

**協創力** 多様性（文化・習慣・価値観等）がある複数人の協同により、相乗効果を生み出すことで、**新たな価値を得る**

- 5 多様性（文化・習慣・価値観等）がある複数人の協同により、相乗効果を生み出すことで、**新たな価値を得ている**
- 4 多様性（文化・習慣・価値観等）がある複数人の協同により、**相乗効果を生み出している**
- 3 多様性（文化・習慣・価値観等）がある複数人の協同により、**人数相応の成果を得ている**
- 2 多様性（文化・習慣・価値観等）がある複数人の協同により、**人数相応の成果は得られていないが、一定の成果がある**
- 1 多様性（文化・習慣・価値観等）がある複数人の協同にもかかわらず**成果が得られない**
- 0 多様性（文化・習慣・価値観等）がある複数人の協同にもかかわらず、むしろ**マイナスの成果となっている**

☆コンピテンシーを0～5段階で自己評価してみよう!

評価時期	年度始	前期		後期	
		自己評価	指標・目標設定	自己評価	指標・目標設定
自確力					
協創力					
融合力					

※0～5の数字を記入してください。